

平成30年度 第2回昭和町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 平成31年3月19日(火)
開会 午後2時00分 閉会 午後3時25分
- 2 会 場 昭和町役場別棟会議室
- 3 出席者 町長 塩澤 浩
教育長 佐野 勝彦
教育委員 太田 學
教育委員 山田 由美
教育委員 磯部 幸廣
教育委員 石原 保夫
押原中学校長 海野 武仁
西条小学校教頭 佐野 良
- (事務局関係)
- 総務課長 渥美 幸久
教育委員会学校教育課長 五味 隆
教育委員会生涯学習課長 小宮山 毅
教育指導監 古屋 正樹
総務課総務係長 三井 浩樹
総務課政策秘書係長 内藤 寛文
教育委員会学校教育課学校教育係長 細田 忠司
- 4 協議事項 (1) 昭和町教育方針について
(2) その他

別紙（議事詳細）

1 はじめの言葉（渥美総務課長）

2 町長あいさつ（塩澤町長）

※あいさつ内容は省略

3 前会議事録確認

三井総務係長より、平成30年度第1回総合教育会議議事録の確認について説明を行った。

4 議事

（1）昭和町教育方針について

① 「昭和町教育方針」について

古屋教育指導監より、説明を行った。

（渥美総務課長）

ただいまの説明に対してのご質問やご意見がありましたらお願いします。

（磯部教育委員）

評価に基づいて作った経緯とか、記載しておいた方が良いと思います。ICT関係とかスポーツとか食育とか、例えばスポーツ推進計画とかこの中に盛り込めたら、全体的な推進体制がわかるような気がするのですが。

（五味課長）

それぞれの計画に基づいた体制の整備をとということですか。

（磯部教育委員）

関連する計画を記載してあれば、町として統一した方向で進むことがわかるような気がします。

（佐野教育長）

各地区でも教育方針を作り始めているが、文章で説明しているところが減ってきている。そこまで踏み込めないのではないか。教育基本方針については、各学校へお願いして学校教育目標の中に入れていただいて、各学校に合わせた表現にしてもらおう。経緯については、文章にして残していきますが、細かなものについては、概略だけ示して後は学校現場の教育目標に生かしていただければ良いと思っています。じゃあ、生涯スポーツ軽ス

スポーツをどうするかという点については、文化協会や生涯スポーツ社会体育の方へ、どういう形で話をするかは今後の課題だと思います。費用の問題は5年経ってやるべきなのか、毎年やるべきなのかは、私の意見とすれば毎年やる方が良いと思っています。重点目標をおいてやってみて、反省してさらにどうすべきか、話し合うべきだと思います。この件については事務局に検討していただければと思います。

(渥美総務課長)

他にございますか。

(太田教育委員)

私はよく、昭和町はキャリア教育どうなっているの。と言われました。地域人材が学校に反映されている中で、ある地域では地域で活躍されているいろいろな方々を招いて、職業把握状況把握、体験的な話をさせていただく中で、キャリア教育を小さいころからちゃんとやっていくのも大事なかなと思います。そしてまた、地域に戻ってくることを考えた中で、昭和町の教育の柱として考えていただければと思います。

(渥美総務課長)

今のご意見について何かございますか。

(五味学校教育課長)

昭和町は、全小中学校がコミュニティースクールの推進を図っています。その中で地域人材を活用した授業を取り入れていますので、その役割を果たしていきたいと思っています。

(太田教育委員)

地域の方が来ていただけるので、コミュニティースクールを活かしていただければと思います。それから、もともと昭和は1村1小中学校だったので、いまでは3小学校となり、中学校で合流することを考えたときに前段階で、交流というか他校を見るだけでもいい経験になると思いますので検討していただければ中学校へ行っても生きるのではないかと思います。

(佐野教育長)

今キャリア教育というのは、教育課程の中には残っていないのですか。小中の研究ということで、キャリア教育の指定を受けまして、強化点の中に入れた記憶があります。それは脈々と受け継がれていると思っています。

太田教育委員が言うように、働く意欲を持つことと夢と希望を持つことは大変大きなポイントだと思います。教育基本計画に夢と志を持つとあります。これはキャリア教育に関する部分だと思います。生きる力を育てるということで学校の方でまた、キャリア教育を活かすような形とってもらいたいと思います。

(海野校長)

平成21年に指定を受け年数もたっていますので、薄れてきている部分もありますが、新しい体制の中で見直そうという動きも出てきています。コミュニティースクールのお話も出てきましたが、職場体験等を行いながら、そちらの方へも時間を割いているところです。キャリア教育の方も見直しを図りながら進めていきたいと思っています。

(渥美総務課長)

その他ご質問ご意見等ございますか。

(佐野教育長)

子どもクラブと育成会の話がよく出るのですが、新しい住民が増えてきていると思いますが、地区で子供たちを遊ばせる組織が弱体化しているのではないかという声が聞こえてきているのですが、現在子どもクラブと育成会がどのようになっているか教えてもらえますか。

(小宮山生涯学習課長)

12地区ありまして、子どもクラブの上に育成会があるという形だと思いますが後で確認します。それを取りまとめるのが教育委員会になります。教育委員会では夏休みの球技大会、スポーツフェスティバルでの綱引き大会に子どもクラブが参加しています。育成会の方は文化系の活動が多いと思います。

(佐野教育長)

教育委員会として何ができるかということですが、地区へ助成金を出してお任せしている形になっていると思います。教育委員会が直接地域へ働き掛けていくことは難しいと思いますが、教育委員会がどのように協力体制をつくり、役員さんが活動しやすいようにすることが、これからの課題だと思います。地区との関係に力を入れていかないと関係が薄くなっていると感じます。一例をあげると、コミュニティースクールの関係で、夏休みラジオ体操に参加している中で、先生方が地域の大人との関わりを持つようにしている。先生方も地域に溶け込んでもらいたい、地域の大人たち

も活動してもらいたいというのもあります。地区の行事、例えばどんど焼きとかが地区だけではできなくなってきている。教育委員会がどう関わっていくのかが課題となっている。

(山田教育委員)

実際子どもクラブの保護者として活動してきましたが、お泊りの体験とか、とても貴重な体験だと思うのですが、キャンプ場で行方不明になるなどのニュースを聞くと、保護者は素人なので、仕事をしながらお泊りのスケジュールを考えたりするのは大変だろうとかあって、お泊りが日帰りになったり、役員さんも大変だから、どんどん縮小されたりして、子どもクラブって大切だなと思う中で、保護者の協力が薄くなっているのかなと思います。それとは別に、子ども同士が普段楽しく遊んだりする中で、スポーツ公園の中にバスケットゴールがあって、中学生とかがよく遊んでいるので、春休みとか夏休みとか一般の人が使っていなければ、開放してもらいたいなと思います。

(佐野教育長)

西条の育成会で西条小学校に泊まりたいということがあったが。

(佐野教頭)

今年は台風で中止になりました。

(佐野教育長)

学校を活動拠点として使ってもらうのは良いことだと思います。昭和町には素晴らしい施設があるので、使ってもらえればすごくいいのかなと思います。先生たちを使わないでそういうことができるかどうか育成会に任せてしまっているのかどうか、これから考えていかなければと思います。

(山田教育委員)

スポ少ななかも、子ども達は習いたいけれど保護者の負担が大きいからやらせられないとか、子どもクラブも会長になったら困るからと、保護者の負担を減らしてという保護者は多いのは事実です。結亀公園では、おじさんと子どもたちが将棋や囲碁をやっていたりするので、いいなと思いました。自然とそういう関係ができているのだと思います。

(佐野教育長)

親も忙しいですね。だからこそ学校では、コミュニケーション能力を作っていこう。みんなで話し合っって自分の意見を述べられるとか、みんな

と考えることができるとか、そういう力育てていこうとしています。なかなか大人が見本を見せられなくて困っているところもあります。私の地区は昔、子どもが少なく、1年生から6年生全体で20人もいなかったのに、皆でバスに乗って一泊して帰ってくるというのが当たり前でできていた。今では80人以上の子供たちがいるので、大変だなという気がします。ただ、そう思って諦めてしまっただけでは同じですので、何かいい方法がないかなと思います。町長さんの公約の中に公営塾やスポーツの振興に取り組むということもありますので、専門家を招いて場所を提供してやっていくようなことをしないと、子ども達がなかなか集団で遊ぶという機会が減ってきていますので、集団で遊ぶことの面白さを感じさせてあげたいなと思います。

(塩澤町長)

教育長の方から公営塾というお話が出たのですが、私もスポーツ少年団で本部長をさせていただき、子どもクラブ連合会もやってきて子どもたちに携わらせていただけてきました。いろんな活動をやりたくてもやれない環境にいる子ども達がたくさんいるとも感じています。そういったことをふまえた中でお話しさせていただいていることは、やりたいと思うことはなるべくやってみて、試してみさせるということをし少しでも手助けしたいなという気持ちがありまして、何とか良い方法があればと思っています。皆様方の意見を聞く中でよい方法が見つかるかと思っていますので、今後とも貴重なご意見をいただければと思っています。

(渥美総務課長)

他に何かございますか。

(磯部教育委員)

教育振興基本計画の中で、課題として子ども貧困というのがありますが、対策として教育委員会の中でできるのか、他の機関と連携しなければいけないのか。

(佐野教育長)

学校ができることと、学校以外でできることがあると思います。前回の貧困対策の時にもお話ししましたが、学校がしなければいけないことは、子ども達に基礎的な学力をつけること、授業の中できめ細やかに対応して、どの子にも同じように学力を身に着けさせることが、学校としてできることだと思います。もう一つは保健の先生や担任の先生が、子ども達の様子をみて、何か問題がありそうな時は教育委員会としてできることは何か、他の機関と連携してできることは何かをきちんと整理していきながら、貧

困対策については取り組んでいきたいと思います。先ほどの公営塾の話もそういう子どもたちのためにあるのではないかと思います。貧困対策として、教育委員会としてできることはやっていきたいと思います。

(渥美総務課長)

その他ありますでしょうか。

(山田教育委員)

重点項目に星印がついているようですが、どういったものについているのか。

(古屋教育指導監)

中でもさらに重点化を図らなければならぬ所については、星印が多くついている形です。基本方針1の中の(3)いじめ不登校対策には毎年星印がついているのですが、社会的な問題として大きく取り上げられているところですので、学校としましても重点的に取り組んでいこうということで印がついています。多くなっているところは、さらに重点化を図らなければいけないということでとらえていただければと思います。

(石原教育委員)

1年ごとに達成度の評価をした方がより良いのではないのでしょうか。

(佐野教育長)

毎年やった方がいいと思います。やり方を予め決めておいた方がいいかもしれません。評価する方もされる方もよいと思います。

(太田教育委員)

目標を決めておかないと評価基準が難しいと思います。単純に○×△という訳にはいかないと思います。無理のない中で、具体性を持った評価にしていいただければと思います。

(佐野教育長)

学校に目標をたててもらいたい。その中で達成できたかどうかの判断をしていただきたい。いじめ不登校対策は、目標値はよく話し合わないと、いじめの認知件数が増えたからとか、不登校が増えたからといって単純に評価できないと思います。

(磯部教育委員)

これはパブリックコメントかける予定ですか。

(佐野教育長)

かける予定です。

(五味学校教育課長)

募集期間を20日くらいは取った方がいいと思いますので、会議後、すぐ行いたいと思いますが、会議で確定ということになるかもしれません。

(渥美総務課長)

その他意見ありますか。

昭和町教育方針については、ご承認いただいたということによろしいでしょうか。それでは、議題の1番は終了させていただきます。

その他事務局から何かございますか。

(事務局)

特にありません。

(渥美総務課長)

委員さんの方から何かありますか。

(海野校長)

校舎はきれいに見えるのですが、エアコンが老朽化してきて、修理も手に負えない状態ですので、健康被害に通じる部分は何とかしていただきたい。

(佐野教頭)

教頭会でも学校の施設管理には気を使っているところであります。子ども達が安全に生活できるように考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(山田教育委員)

スポーツ施設を携帯やネットで予約できるようにしてほしい。休みの日は予約ができなくて、空いているのもったいないと思うことがある。子どもがスポーツしたい遊びたいときに、空いていたら使えるといいなと思います。押原公園はバスケットゴールが自由に使えるので、子どもが使える施設があるといいと思います。

(小宮山生涯学習課長)

ネット予約システムも検討したことがあるのですが、年間300万円くらいかかるということでしたので、現状維持としています。

(太田教育委員)

卒業式に参加しましたが、もっと祝福ムードみたいなものがあっても良いかなと感じました。

(渥美総務課長)

それでは、本日は様々なご意見をいただきましたが、皆様からのご意見は、これからの教育行政の中で生かしていけるよう努力したいと思います。

以上を持ちまして第2回総合教育会議を終了いたします。

本日は長時間にわたりありがとうございました。